

1 趣 旨

乳幼児期の子育て家庭に向けての交流の場が、全国各地に広がってきた背景には、核家族化で世代間の子育て文化伝承が難しくなってきたこと、顔の見えるかたちでの地域の支えあいの力が弱くなってきたこと、さらには、親の就労時間が長く、夫婦が協力して子育てを担う環境が整っていないこと、などの現状があります。このような現状を打開しようと、子育て当事者（親）や子育て支援者たちが、自分たちで地域の中に居場所を確保して、親同士が気兼ねなく交流し、お互いに支え合い、情報を交換し、学びあう場を生み出し、子育ての第一歩を支えていこうと活動してきました。このことは、多様な関わりの中で、子どもも親も育つ環境を地域の中で再構築する営みでもありました。こうして各地に広がってきた居場所を「子育てひろば」と定義します。

「子育てひろば」とは、

- 妊娠、出産、乳幼児期の子育て家庭が気兼ねなく集まり交流できる場
- 乳幼児期の子どもたちが安心して、のびのびと遊べる場
- 子育ての情報を得たり、交換できる場
- 親子が育ち合う仲間と出会える場
- 子育て経験や体験を通じて、親同士が学び合える場
- 親自身が主体となれる場、人との関係性を育める場
- 子育ての悩みに寄り添って聞いてくれるスタッフがいる場
- 地域のボランティアをはじめ、様々な人が子育てに関わり、社会全体で子育てを応援する場

「子育てひろば」は、全国的にも急速に広がりつつあります。そこで、「子育てひろば」の運営に取り組んでいる団体・個人の全国的なネットワークを立ち上げ、「子育てひろば」の趣旨・役割などを確認しながら、情報の共有、相互交流や、調査研究、研修などを行い、「子育てひろば」など地域子育て支援の質の向上を図るため、「NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会」を設立することになりました。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会は、

- 「子育てひろば」の成果と可能性を検証し、子どもの育ちや家庭支援の重要性、社会みんなで子育てを支える環境づくりを提言します。
- 「子育てひろば」に取り組む運営団体をサポートし、質の向上に貢献します。
- 連携と協働による子育て、まち育てをすすめます。

親や子どもたちのニーズを探り、場をもつ意味を十分理解し、地域の関係者とともに考えながら進めていきたいと思えます。また、親自身が子育てを通じて、地域や社会との接点を持ち、多くの人々に支えられて子育てをする実感を得て、次の子育て家庭をサポートできる立場になれる、そのような市民による支えあいの循環を育んでいきます。

2 申請に至るまでの経過

平成 16 年 4 月設立した「つどいの広場全国連絡協議会」にて、全国で数多くのセミナーを開催し、子育てひろばの実践に関わる運営者やスタッフに向けた研修をおこなってきました。このたび、子育てひろばが社会的に認知され、重要性が増す中、さらに実践者への支援を安定的に供給し、私たちの理念「身近な子育て拠点として、妊娠、出産、乳幼児期の子育て家庭の拠り所となる子育てひろばの質を確保し、普及・促進する」ために法人設立を決意しました。